

健診を受けよう!

『若くても罹患する子宮頸がん』

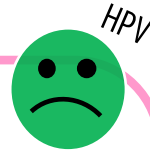
若い世代でも注意が必要な「子宮頸がん」。正しい知識を身に付けて、予防することが大切です。健診は2年に1回と推奨されておりますが、今までに一度も受診されたことがない方は、積極的に受診するようにしましょう。当組合で補助が一部ありますのでご紹介します。

子宮頸がんとは

子宮頸部の入り口である頸部の表面から発生することが多く、増殖のスピードが遅いため、健診でがん化する前の段階で見えます。20代など若い世代で増加しています。

ヒトパピローウイルスとは？

子宮頸がんの原因とされているのは主にヒトパピローウイルス(HPV)の感染です。HPVは多くの女性が感染するありふれたウイルスで主に性交渉時に感染します。



HPVワクチン

抗体をつくり、感染を予防します。

若い人ほど有効です



<キャッチアップ接種> 平成9年度～平成18年度生まれの方は公費で接種が可能となります。(令和7年3月まで) 詳細は厚生労働省のホームページをチェック!!

子宮頸がんリスクをチェック

チェックが多いほど子宮頸がんの危険性が高くなります。

- 妊娠・出産の回数が多い
- 性交渉の経験がある
- 子宮がん健診を受けたことがない
- 喫煙の習慣がある
- 不正出血がある
- 下腹部の痛みや排尿痛がある

喫煙も子宮頸がんのリスクに!

※初期段階では自覚症状はほとんどないため、出血や痛みがある場合は医療機関を受診しましょう!

子宮体がんの可能性も...

子宮体がんとは

子宮内膜がんともいわれ、子宮体部の内側の子宮内膜に多く発生します。

50歳～60歳代に多くみられ、初期の症状として不正出血がみられます。

女性ホルモンの影響が大きいがんですので、妊娠や出産の経験がない方や卵胞ホルモンだけのホルモン補充療法を行っている方はリスクが高いといわれています。

郵送検診

費用の全額
当組合が負担します

○対象者

当組合加入1年以上の20歳以上
女性被保険者及び被扶養者

○申込方法

下記URLかQRコードよりお申込ください。

URL:

<https://form.run/@yamazakipansk>

○申込期日

2023年11月15日(水)



○流れ

WEBで申込 → 検査キット到着 → 自己採取して返送 → 結果到着

人間ドック(婦人科健診)

一部補助あり

○対象者

当組合加入5年以上の35歳以上
女性被保険者及び被扶養者

詳細は当組合ホームページをご覧ください。

